

このように、この小さい者たちの一人が滅びることは、
天におられるあなたがたの父のみこころではありません。—マタイ 18:14—



世界のすべての子どもの救いと成長のために、
200以上の国と地域のCEFの世界の家族と、祈りの手を上げよう！

主の御名を心から賛美いたします。いつも日本CEFのために祈りと尊いご支援をいただき感謝いたします。11月6日(水)はCEF世界祈禱日です。この日は、子どもたちの救いと成長、CEFの働きのために全世界の兄弟とともに24時間連鎖で祈る特別な日です。

世界では戦争や紛争が長期化し、多くの犠牲者が出ており、各地で起こる自然災害によっても多くの子どもたちが傷つき、いのちを亡くしています。私たちが直接手を伸ばすことは難しいかもしれませんが、何よりも、子どもを愛し招いておられる主に心を注いで祈ることができます。哀歌2:19「あなたの幼子たちのいのちのために、主に向かって両手を上げよ。彼らは街頭のいたるところで、飢えのために衰えきっている。」

今年、日本CEFは神様の恵みにより76年目を迎えました。皆様のお祈りとご支援によって教師訓練や教材、CPCやグッドニュースクラブ、デイキャンプなどで多くの子どもたちに福音を伝え、救いに導くことができました。祈っていただいた東北支部の土地と建物も与えられ、11月23日には設立式(仮称)も予定されています。また、本部には新しいスタッフも加わりました。そのすべてを感謝します！

しかし、日本の子どもたちの現状は、冒頭のみことばの「飢えのために衰えきっている」です。神さまは、子どもが神のことばを聞くための場所を2つ備えておられます。1つは家庭で、子どもは両親から神と神のみことば、福音を聞くことができます。しかし、クリスチャン人口1%に満たない日本では、ほとんどの子どもは家庭で聞くことはできません。2つ目は教会ですが、教会もCSの出席人数が激減しています。子どもは「主のことばを聞くことの飢饉」(アモス8:11)のただ中にいます。私たちができること、それは心を注ぎ、幼子たちのために主に祈ることです。もちろん、直接出て行って伝えることは大切です。しかし出て行けなくても祈ることは万人にできることです。世界祈禱日には、世界200以上の国と地域のCEFの働き人と協力者が、心を合わせて子どものため、教会学校の働き、またCEFのために祈ります。今年もぜひ、子どもたちの救いと成長のために「世界祈禱日」にご参加ください。同封の申込書やGoogleフォームで、本部までお申し込みください。後日、祈禱課題と祈禱時間表をお送りいたします。11月6日、心を合わせて、愛する幼子たちの魂、いのちのために祈りましょう。



時間表作成と発送の関係で、締め切りは10月16日(水)とさせていただきます。下記のQRコードよりスマホなどからお申込ができます。例年通りメールやFAXでも受け付けています。

お申込みはこちらから



日本CEF(日本児童福音伝道協会)

〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6
TEL 0299-28-2031 FAX 0299-28-2028